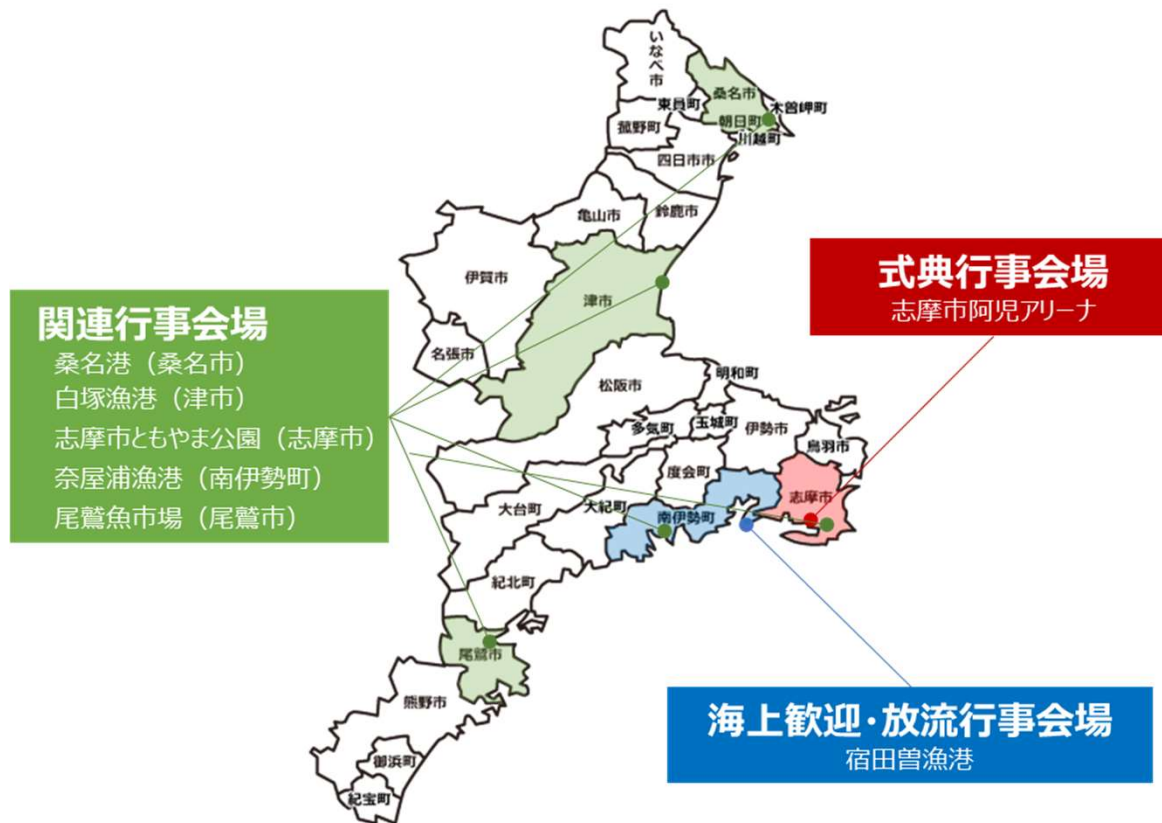


第44回全国豊かな海づくり大会 ～美し国みえ大会～

大会テーマ：受け継ごう 命あふれる 清い海

【実施計画概要版】



■主催

- ・豊かな海づくり大会推進委員会
- ・第44回全国豊かな海づくり大会
三重県実行委員会

■開催日

令和7年11月9日（日）

第44回全国豊かな海づくり大会～美し国みえ大会～

式典行事 全体コンセプト

【背景】

- ・三重県は日本書記において「**美し国**」と称され、古来から海・山の幸に恵まれる
- ・志摩地方は「**御食つ国**」として朝廷に海産物を献上する国として重要な地位を占めていた
- ・「御食つ国」が成立できたのは、**豊かな自然が育む海の幸**と、その恵みを**持続的に享受**するための人々の**知恵**
- ・一方、近年では栄養塩類の不足や、海水温上昇などの環境変化に伴い、三重県の**漁場生産力が低下**

【メインテーマ】

- ①式典を通じて海にまつわる歴史や伝統、豊かな自然の魅力を存分に感じていただく
- ②持続可能な水産業を次の世代に引き継いでいくという強いメッセージを発信する

三重県全体で！

【過去、現在、未来の3つの時間軸で演出を構成】

- (過去) 海にまつわる歴史や伝統、豊かな自然の魅力を全国に伝えつつ、水産業の重要性をあらためて認識する
- (現在) 三重県の漁業の特色や環境保全活動などを漁業者の声と映像を交えて具体的に紹介
- (未来) 世代を超えた協力で豊かな海の再生に取り組む三重県の姿を全国に発信する

式典行事 概要

開催日時：11月9日（日）午前
招待者数：約1,000名

【プログラム】

次 第	演出内容
招待者着席	三重県の紹介映像上映（観光ビデオ等）
プロローグ	ナビゲーター、映像や芸能披露による演出
進行概要説明	司会による概要説明
登壇者等紹介	登壇者等の紹介
大会旗入場	先導する児童に合わせて大会旗が入場 旗手より大会旗受取
開会のことば	三重県漁連 会長
国歌斉唱	
主催者あいさつ	全国豊かな海づくり大会会長 三重県実行委員会会長（三重県知事）
歓迎のことば	志摩市長
功績団体等表彰	大会会長、農林水産大臣、環境大臣、水産庁長官、三重県知事が各受賞者へ授与
最優秀作文の発表	大会会長賞受賞者より作文朗読
稚魚等のお手渡し	漁業関係者へ稚魚等をお手渡し
海づくりメッセージ	漁業者、環境保全活動実践者等
大会決議	大会推進委員会会長
大会旗引継、次期開催県あいさつ	三重県知事から大阪府知事へ大会旗引継
閉会のことば	三重県議会議長
表彰式 終了あいさつ	三重県副知事から功績団体、作品コンクール受賞者へ表彰 状授与
エピローグ	ナビゲーター、合唱などによる豊かな海づくりへのエール
終了	

※演出内容は、変更される可能性があります。

【出演者など】

【ナビゲーター】
浅尾美和・瀬古利彦
【プロローグ】
安乗人形芝居保存会 志摩市私立東海中学校 アトラクション演者（調整中）
【式典補助員】
県立志摩高等学校
【式典音楽隊】
私立皇學館高等学校吹奏楽部
【大会旗入場】
先導：地元保育園児童（調整中） 旗手：県立水産高等学校
【稚魚のお手渡し】
お受取：漁業関係者
【海づくりメッセージ】
漁業関係者など
【エピローグ】
伝統芸能演者（調整中） 伊勢市立五十鈴川中学校合唱部



【登壇者】

【来 賓】
農 林 水 産 大 臣 環 境 大 臣 水 産 庁 長 官 大 阪 府 知 事 （ 後 催 県 ）
【主催者】
衆 議 院 議 長 （ 大 会 会 長 ） 全 漁 連 会 長 （ 推 進 委 員 会 会 長 ） 三 重 県 知 事 （ 県 実 行 委 員 会 会 長 ） 志 摩 市 長 （ 県 実 行 委 副 会 長 ） 南 伊 勢 町 長 （ 県 実 行 委 副 会 長 ） 三 重 県 漁 連 会 長 （ 県 実 行 委 副 会 長 ） 三 重 県 議 会 議 長 （ 県 実 行 委 顧 問 ） 志 摩 市 議 会 議 長 （ 県 実 行 委 顧 問 ） 南 伊 勢 町 議 会 議 長 （ 県 実 行 委 顧 問 ）

【会場イメージ】



式典行事 実施内容

開催日時：11月9日（日）午前
プログラム構成：プロローグ、表彰、稚魚等のお手渡し、海づくりメッセージ、エピローグなど

【演出の基本的な考え方】

【プロローグ】

歓迎の意をお伝えするとともに、「**美し国**」として知られる本県の海にまつわる**歴史や伝統、豊かな海の魅力を**、**過去（美し国の海の豊かさと伝統）、現在（地域の特徴を活かした水産業）、未来（豊かな海を次世代へ）の3つの時間軸で構成された演出**で存分に感じていただく。

【式典（海づくりメッセージ）】

三重県の漁業者による**水産資源の保全や価値向上、地域と連携した自然環境保全の取り組みへの努力や挑戦**をもとに、**豊かな海を次世代へとつなぐ決意を全国に発信**する。

【エピローグ】

式典の余韻の中、来場者に**豊かな海づくりへの想いを共有**いただくとともに、力強い演出を通じて、**持続可能な水産業を次世代に引き継ぐ熱気を会場に届ける**。

また、**次世代を担う若者の合唱を通じて、豊かな海づくりに向けた応援のエールを届け**大会のフィナーレを飾る。

次 第	演出内容	出演候補
招待者入場	プロモーション映像放映 三重県の豊かな自然、観光スポット、多彩な魅力あふれる「美し国みえ」の情報発信及びPR	県内観光スポット（歴史、文化、産業、自然等）
プロローグ	【第1章】演出テーマ：美し国の海の豊かさと伝統 ※過去を表現 ・歴史あるハマグリ、海女、真珠養殖等を映像と語りで紹介し、三重県の歴史、漁業への理解を深める。 ・安乗人形芝居「戎舞」を披露し、豊かな海への感謝と豊漁の願いを演出 など	語り部（調整中） 安乗人形芝居保存会・志摩市立東海中学校など
	【第2章】演出テーマ：地域の特徴を活かした水産業 ※現在を表現 ・栽培漁業や養殖漁業などのつくり育てる漁業、水産物ブランド化など、三重県で取り組まれる漁業の現在を映像で紹介	栽培漁業および養殖業の取組 水産物のブランド化の取組
	【第3章】演出テーマ：豊かな海を次世代へ ※未来を表現 ・漁業者と地元住民などが連携した活動や、持続可能な漁業への取組の映像をナビゲーターが紹介し、会場一体での豊かな海づくり（未来）の気運醸成 ・豊かな海の未来づくりの気運を盛り上げるアトラクションの披露（調整中）	漁業者、地元関係者など（調整中） アトラクション演者（調整中）
式典	【海づくりメッセージ】演出テーマ：豊かな海づくりへ向けた決意 ・若手、夫婦、ベテラン漁業者、環境保全活動の実践者などによる決意の表明	漁業関係者、環境保全活動の実践者など 式典音楽隊：私立皇學館高等学校 吹奏楽部
エピローグ	演出テーマ：豊かな海づくりへの想いの共有と応援のエール ・ナビゲーターが式典全体を振り返りながら、自身の海への思い出を語り、豊かな海づくりへの想いを共有 ・大漁を祈願する伝統芸能（調整中）による力強い演出を通じ、持続可能な水産業を次世代に引き継ぐ熱気を会場に届ける ・次世代を担う中学生による合唱で、豊かな海づくりに向けた応援のエールを届け、想いをつなぐことでフィナーレを飾る。	ナビゲーター（浅尾 美和、瀬古 利彦） 伝統芸能演者（調整中） 伊勢市立五十鈴中学校 合唱部

※演出内容、出演候補などは変更される可能性があります。

海上歓迎・放流行事 概要

開催日時：11月9日（日）午後
招待者数：約500名

プログラム構成：漁法紹介、稚魚の放流

【プログラム】

次第	演出内容
歓迎演奏	吹奏楽による歓迎演奏
進行概要説明	司会による概要説明
海上歓迎パレード	漁船等による海上航行（漁法紹介） なぶら太鼓演奏
第1回御放流	イセエビ稚エビの放流
第2回御放流	マダイ稚魚の放流
終了	

【出演者など】

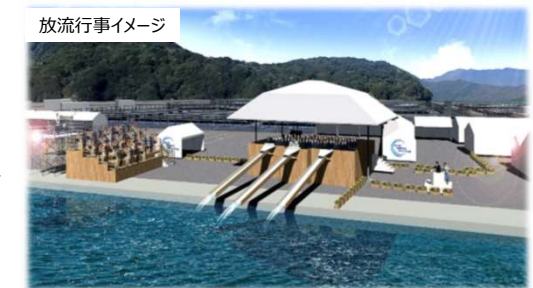
【吹奏楽演奏】
県立神戸高等学校吹奏楽部
【和太鼓演奏】
なぶら太鼓
【御放流介添】
県立南伊勢高等学校 県立水産高等学校 南伊勢町立南勢中学校

【漁法紹介船】

漁船	海女
	いせえび刺網
	真珠養殖
	ふぐはえ縄
	定置網
	まき網
	沿岸かつお一本釣り
他	魚類養殖 漁業調査船など

【登壇者】

【来賓】
農 林 水 産 大 臣 環 境 大 臣 水 産 庁 長 官
【主催者】
衆 議 院 議 長（大会会長） 全 漁 連 会 長（推進委員会会長） 大日本水産会会長（推進委員会顧問） 日本放送協会会長（推進委員会顧問） 三重県知事（県実行委会長） 志摩市長（県実行委副会長） 南伊勢町長（県実行委副会長） 三重県漁連会長（県実行委副会長） 三重県議会議長（県実行委顧問） 志摩市議会議長（県実行委顧問） 南伊勢町議会議長（県実行委顧問）



海上歓迎・放流行事 実施内容

次第	演出内容	出演候補
歓迎演奏	吹奏楽による歓迎演奏	県立神戸高等学校 吹奏楽部
海上歓迎パレード	現役海女などが乗船した漁船等による海上航行（漁法紹介） 勇壮な大漁旗を掲げた大漁船団の海上配置によるおもてなし なぶら太鼓による演奏	漁船15隻／漁業調査船など 漁船48隻 なぶら太鼓

関連行事

開催日：11月9日（日）

場所：桑名港（桑名市）、白塚漁港（津市）、志摩市ともやま公園（志摩市）、
奈屋浦漁港（南伊勢町）、尾鷲魚市場（尾鷲魚）

大会開催市町を含む県内5市町と連携し、多くの方が参加できるイベントを開催。

式典行事、海上歓迎・放流行事の映像中継、企画展示や体験ブース出展、放流行事との同時放流。（放流可能会場のみ）



大分県大会の関連行事での中継映像

絵画・習字優秀作品展示

開催日：11月8日（土）・9日（日）

作品コンクールの優秀作品（知事賞受賞作品）の展示を行う。

※優秀作品やお手渡し容器などは、大会終了後に広く県民の皆さんにもご覧いただく機会を創出。



大分県大会受賞作品

招待者へのおもてなし

会場でのおもてなし



大会記念弁当イメージ（監修：県立相可高等学校 調理クラブ）

三重県の魅力ある産品を全国に発信



記念品（大分県例）

*写真提供：大分県

三重県の豊かな食の魅力を伝えるため、県内各地の特産物をはじめとした、三重県の農林水産物をふんだんに盛り込んだ大会記念弁当を提供。
式典行事会場及び海上歓迎・放流行事会場では飲み物のサービスを実施。
関連行事会場では、三重県の水産物と、その加工品などの販売等を実施。

招待者には三重県ならではの心に残る大会記念品を提供。

実施本部設置計画（案）

【組織図】

【基本的な考え方】

①招待者（出演者含む）の受付・案内の対応や各行事の進行管理など、大会運営に係る業務を円滑に実施するため設置

②実施本部員は、三重県、関係市町及び水産関係団体職員を中心に構成

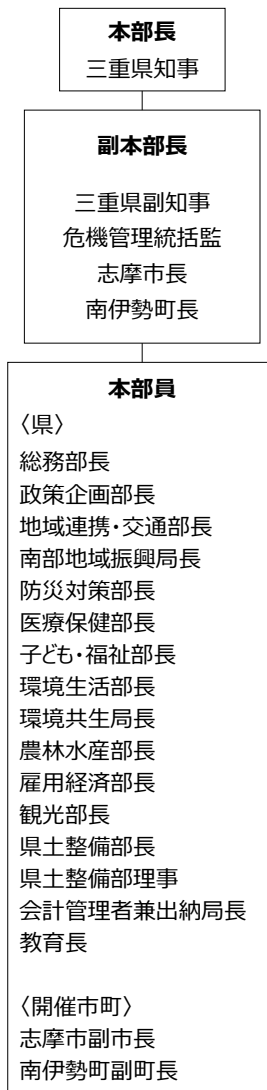
③大会を円滑に推進するため、事前に関係機関、関係団体との綿密な情報交換・調整を行う。

【組織及び業務概要】

①実施本部に本部長、副本部長、本部員及び運営責任者を置き、各部には部長及び班長等を置く。

②組織や主な業務内容は右図のとおりとする。

※今後組織等は変更となる場合があります。



三重県農林水産部次長（水産振興担当）
運営責任者

		組織名		業務内容
		部名	班名	
1	総括部	1-1	実施本部運営班	実施本部の総括、大会運営の進行管理 関係機関との連絡調整、報道機関対応、判定会議の運営 他部の事務に属さないこと
			1-2 総務班	県民対応等の窓口、荒天時対応の補助
2	特別接伴部	2-1	SVIP接伴班	SVIPとの連絡調整・受付・接伴
			3-1 総務・招待者管理班	作品御覧・歓迎レセプションの総括管理
3	作品御覧・歓迎レセプション部	3-2	入場管理班	作品御覧・歓迎レセプション招待者の受付・手荷物検査
			3-3 作品御覧運営班	絵画・習字作品御覧の運営進行管理
			3-4 歓迎レセプション運営班	歓迎レセプションの運営進行管理
			3-5 救護・防災班	救護及び防災対策、医療機関・消防等との連絡調整
			4-1 総務・招待者管理班	式典行事の総括管理、招待者の名簿管理
4	式典行事部	4-2	入場者管理班	招待者の受付、手荷物検査
			4-3 会場案内班	会場内の総合案内、招待者の会場内誘導
			4-4 式典行事運営班	式典行事の運営進行管理
			4-5 接遇班	招待者の接遇等
			4-6 放流魚御覧運営班	放流魚御覧の管理運営、お手渡し魚の管理
			4-7 救護班	救護対策、医療機関・消防等との連絡調整
			4-8 会場警備班	会場及び周辺の警備、防災対策
			5-1 総務・招待者管理班	海上歓迎・放流行事の総括管理、招待者の名簿管理
5	海上歓迎・放流行事部	5-2	入場者管理班	招待者の受付、手荷物検査
			5-3 会場案内班	会場内の総合案内、招待者の会場内誘導
			5-4 海上歓迎行事運営班	海上歓迎行事の運営進行管理
			5-5 放流行事運営班	放流行事の運営進行管理
			5-6 接遇班	招待者の接遇等
			5-7 救護班	救護対策、医療機関・消防等との連絡調整
			5-8 会場警備班	会場及び周辺の警備、防災対策
			6-1 総括管理班	関連行事会場の総括管理、主催者との連絡調整
6	関連行事部	6-2	会場管理班	大会映像中継の管理運営、企画展示・体験・放流等支援
			7-1 総務・総括管理班	宿泊・輸送業務全体の総括管理、総合案内
7	宿泊・輸送部	7-2	指定宿泊施設班	招待者宿泊施設での受付、輸送バス添乗
			7-3 指定集合地班	指定集合地での受付、輸送バス添乗
			7-4 作品御覧・歓迎レセプション輸送班	作品御覧・歓迎レセプション招待者の輸送
			7-5 式典行事輸送班	式典行事における輸送
			7-6 海上歓迎・放流行事輸送班	海上歓迎・放流行事における輸送

大会の気運醸成

1. 作品コンクール（作文、絵画、習字）【令和7年4～6月】

県内の小・中・高校生を対象とした作品コンクールを実施。

※作文最優秀者は、式典で朗読を実施。絵画・習字は大会前日に優秀作品御覧を実施。

2. 大会開催気運醸成イベント【令和7年5月～6月頃】

大会開催へのさらなる気運醸成に向けたイベントを実施。

3. 豊かな海や河川の恵みを楽しむための水域環境の保全【令和7年4月～10月頃】

（公財）海と渚環境美化・油濁対策機構との共催による海浜清掃を実施。

4. 多彩な魅力あふれる「美し国みえ」の発信（魚食普及活動）

未利用魚も含めた三重県の豊かな水産物の消費拡大を通じ、水産資源保護の重要性の浸透を図る。

5. 子供用法被を活用したPR

公募により決定した子供用法被を活用し、各種PRイベント等において広報活動を行う。

6. 大会記念リレー放流・水産教室【令和7年4月～10月頃】

7. 地域イベント等での大会PR【令和7年4月～10月頃】

8. 大会協賛（協賛金、協賛品、協賛行事）の募集

9. 大会専用ホームページを活用した広報



今後のスケジュール

・令和7年3月26日 三重県実行委員会 第3回総会

・ 4月 大会実施本部設置

・ 5月31日 大会開催気運醸成イベント

・ 9月20日 海上歓迎リハーサル

・ 10月5日 式典行事リハーサル

・ 11月8日 前日総合リハーサル

・ 11月9日 大会本番

・令和8年3月 三重県実行委員会 第4回総会

